

平成 21 年 11 月 26 日
東日本高速道路株式会社

最近の高速道路の交通概況について

NEXCO東日本(東京都千代田区、代表取締役会長:八木重二郎)の最近の交通量等について取りまとめましたので報告いたします。

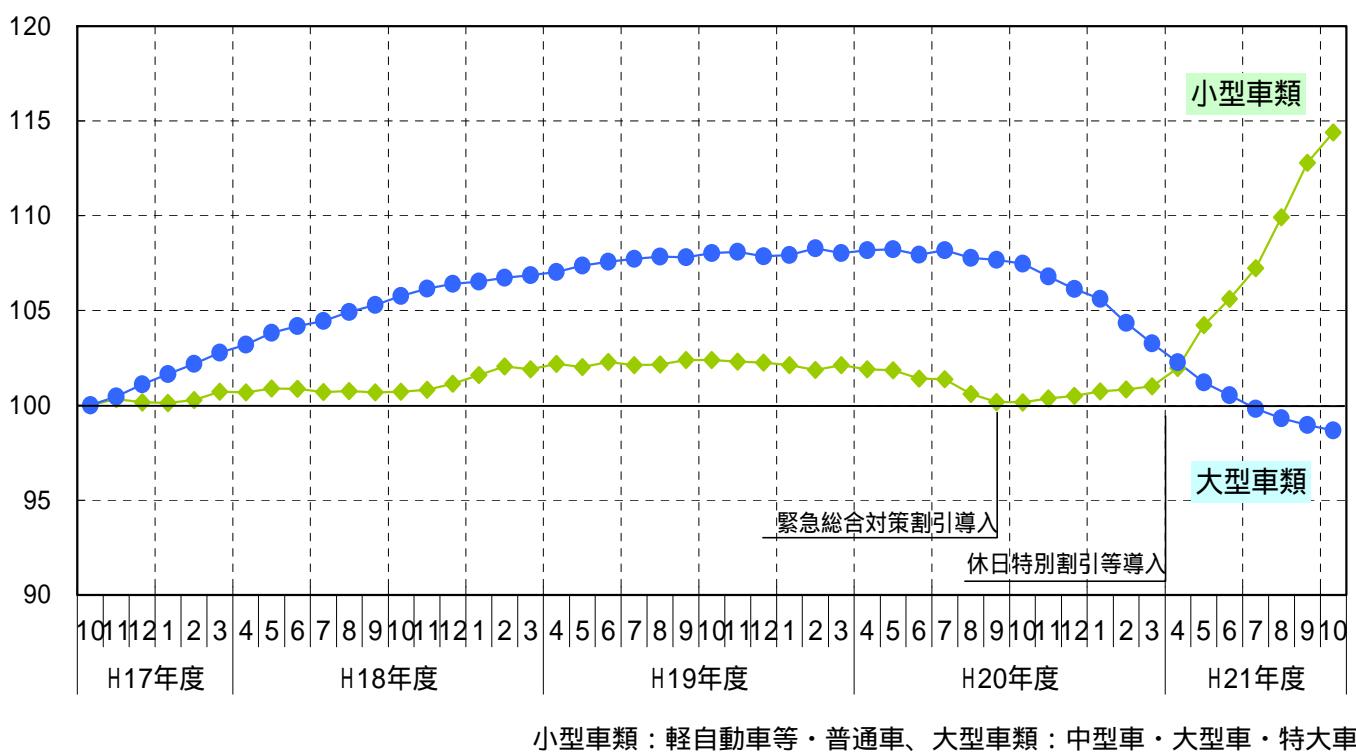
・高速道路走行台^{キロ}の推移

小型車類

昨年秋以降、緊急総合対策による料金割引の導入や燃料価格下落などの影響により、走行台^{キロ}は増加傾向で推移しており、特に 3 月末の休日特別割引等導入以降は大幅な増加傾向が継続しています。

大型車類

景気低迷等の影響を受け、昨年秋以降急激な減少傾向が継続していましたが、ここ数ヶ月減少度合いにやや鈍化の傾向が見られます。



小型車類：軽自動車等・普通車、大型車類：中型車・大型車・特大車

- 図 1 高速道路走行台^{キロ}の推移 - (東日本管内、12 ヶ月移動和、H17.10 = 100)

. 1日あたりのご利用台数(高速道路)

- ・ 10月の高速道路のご利用台数は、月平均で1日あたり142万台(対前年比+3%)となりました。
- ・ 直近3ヶ月間では、特にお盆期間を含む8月の休日、及び今年はじめて五連休となったシルバーウィーク(SW)を含む9月の休日が、それぞれ対前年+20%と顕著な増加となりました。

- 表1 月別ご利用台数 - (千台/日)

	平 日			休 日			月平均		
	8月	9月	10月	8月	9月	10月	8月	9月	10月
H20	1,470	1,369	1,377	1,316	1,313	1,382	1,420	1,350	1,378
H21	1,510	1,383	1,378	1,576	1,569	1,505	1,531	1,451	1,419
対前年比	1.03	1.01	1.00	1.20	1.20	1.09	1.08	1.07	1.03

注) 上記ご利用台数は高速道路のみの合計値。また、営業概要の通行台数とは集計方法が異なります。

. アクアラインの交通量(速報値)

- ・ 10月のアクアラインの交通量は、月平均で対前年比+46%の増加となりました。
- ・ 料金社会実験が新たに導入された8月以降、対前年比+50%前後と大幅な増加が続いています。

- 表2 月別交通量 - (川崎浮島JCT~海ほたるPA間、台/日)

	平 日			休 日			月平均		
	8月	9月	10月	8月	9月	10月	8月	9月	10月
H20	22,100	16,800	17,200	27,500	26,400	27,800	23,800	20,000	20,300
H21	32,400	25,500	24,600	48,200	45,100	40,100	37,500	32,700	29,600
対前年比	1.47	1.52	1.43	1.75	1.71	1.44	1.58	1.64	1.46

) 交通量は、ETC車以外も含む全車種合計の断面交通量(トライックカウンター[道路に備え付けられている交通量(概数)の自動計測装置])による速報値

1日あたり車種別走行台数の状況(高速道路)

- 小型車類 地方部の休日における走行台数の増加が顕著で、特にSWを含む9月の休日は対前年比で+83%と顕著な増加となりました。
- 大型車類 大都市近郊・地方部ともに前年マイナス基調で推移していますが、徐々にマイナス幅が縮小する傾向が見受けられます。

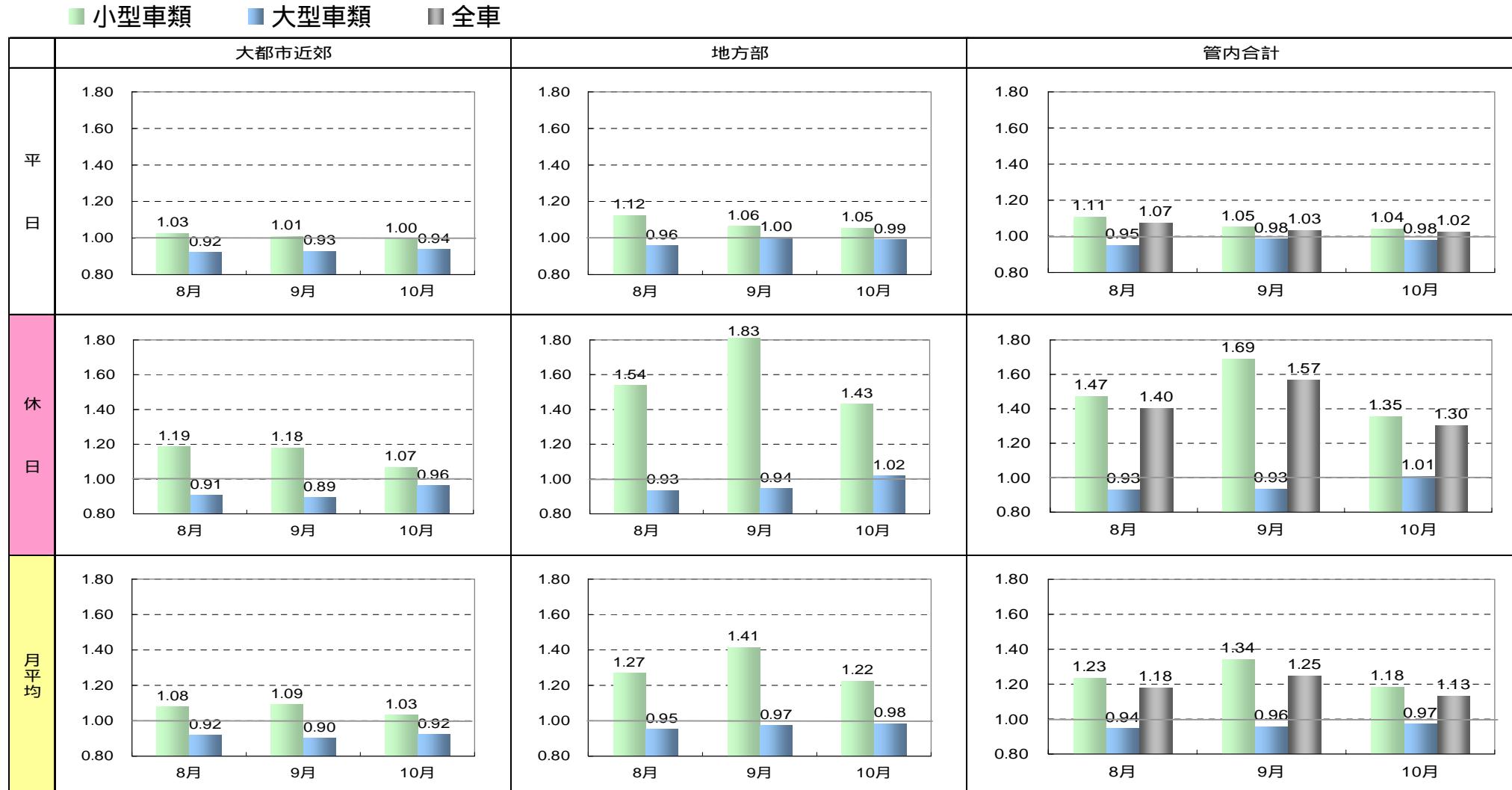


図2 1日あたり車種別走行台数の状況

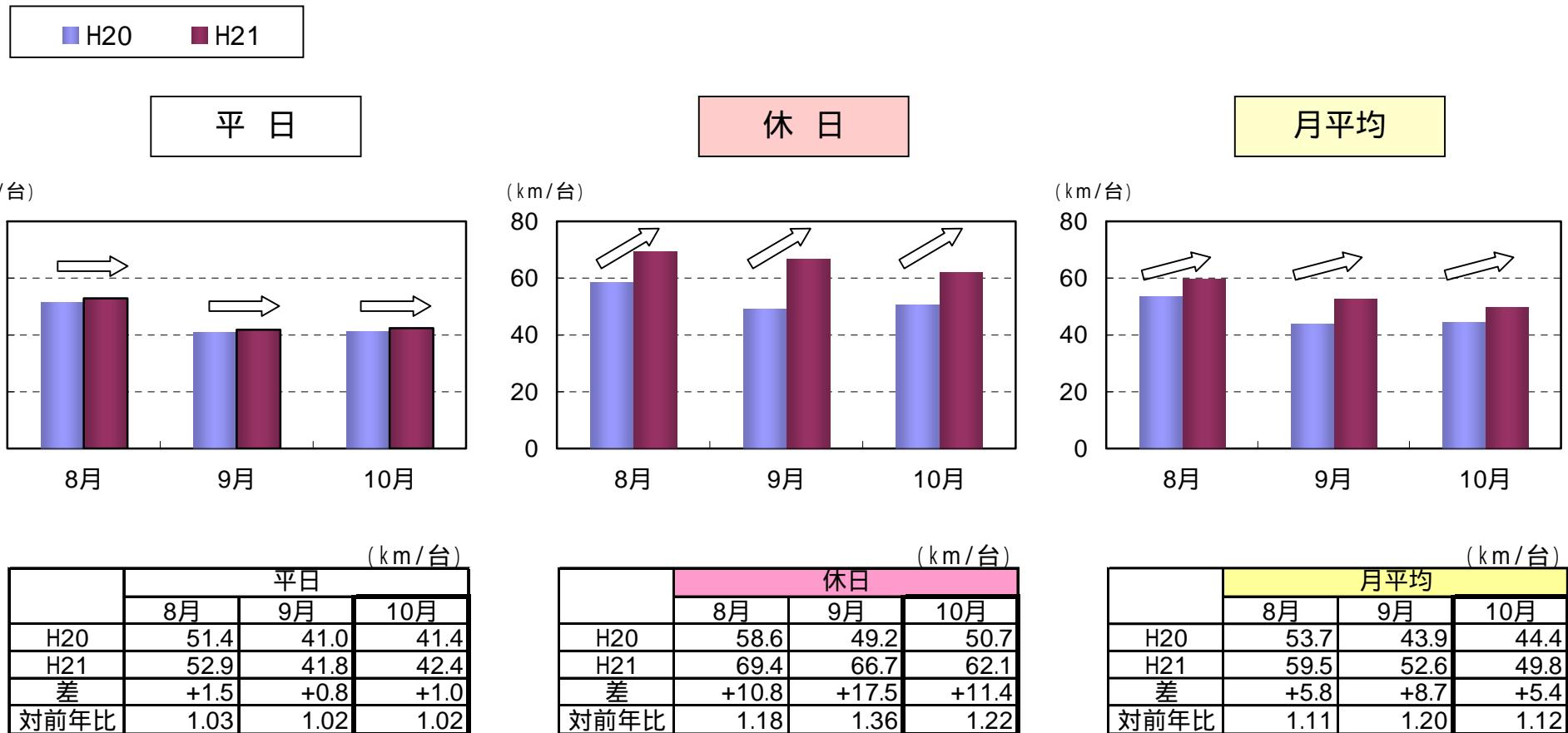
(高速道路、対前年比)

速報値による集計

・小型車類平均走行距離の状況（高速道路）

平日：各月とも昨年に比べ平均走行距離に顕著な変化は見られません。

休日：昨年に比べ平均走行距離が10km以上増加する傾向が続いており、特に9月の休日は対前年+17.5km(+36%)の増加がありました。

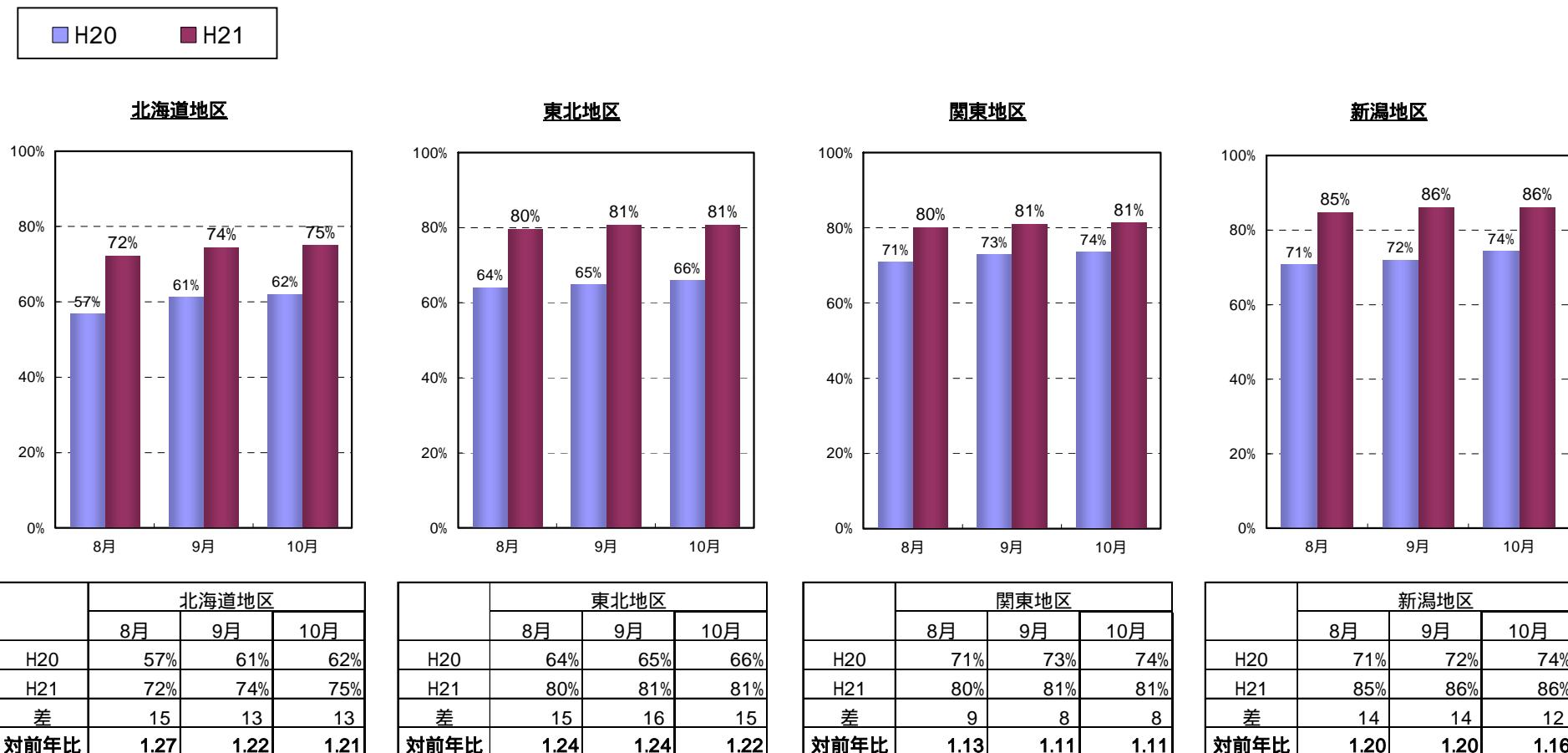


平均走行距離は一定の補正率を用いて算出した速報試算値

- 図3 小型車類平均走行距離の状況 - (高速道路、対前年比)

・ ETC利用率の状況

- ・ 地方部(北海道地区・東北地区・新潟地区)のETC利用率は、対前年比16~27%増加しています。
- ・ 一方、都市部を含む関東地区のETC利用率は、対前年比11~13%の増加となっています。



ETC利用率：東日本管内のIC入口(ETC台数/総台数)

- 図4 ETC利用率の状況 - (東日本管内、対前年比)